

第1号議案 2022年度活動報告

1. 事業活動

1) 再生可能エネルギー発電事業

【1号機発電所】

- ・ 設備場所 ソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）,厚木市飯山 885 落合農園
- ・ 設備規模 太陽光モジュール出力 26.28kW、パワコン 19.8kW
- ・ 発電期間 20年1月～39年12月（FIT適用期間）
- ・ 発電量 30,942kWh（22年7月～23年6月）詳細は資料-1に記載
二酸化炭素削減量 12.0トンのCO₂に相当（0.3875kg CO₂/kWhとして）
- ・ 売電収入 621,575円（22年7月～23年6月・税込み）
- ・ 売電先 ㈱UPDATER（旧みんな電力株式会社） 特定卸供給契約
需要家の応援者 のべ1043人・月（100円/人・月の応援金が支給される）、
法人需要家の要望により、指定発電所の電力を供給するマッチングサービスで、
プレミアム料金の支給あり。計 112,131円の追加収入
- ・ 維持管理等 22年10月22日 収穫祭に合わせて「非常電源使用方法の説明会」を近
隣4軒のみなさまと行い、非常電源としての機能を確認しました。
23年1月8日 設備自主点検：架台のボルトゆるみや支柱の揺れの点検、
パネルの目視点検、東京工芸大学内田先生によるドローンからの撮影で目視点
検（赤外線カメラ撮影も行ったが未解析）で異常はありませんでした。発電量
データより機能的な異常がないことを確認しました。

【調査・検討】2号機以降に向けての普及拡大活動

発電設備の普及拡大を目指して活動を展開していますが、22年度中には具体化には至りませんでした。

㈱UPDATERと提携のエポスカード「みんな電力エポスカード」より1年間の応援金1,615千円をいただき、再エネ発電普及に活用します。一部は防犯カメラに充て、残金約140万円の活用先を検討中です。

新たな設備に対して「自家消費型」オンサイトPPA・オフサイトPPAという方法、なおかつ補助金を活用することを優先的な条件として考えています。

市民や地域の事業者で自ら発電設備の設置を希望する方へのサポートを行い、結果として地域内の再エネ普及に資する活動も行っています。

2) 普及・啓発事業 「資料-2」参照

・ 1号機見学会

22年度は数回でしたが見学を受けました。

・ 講演会、学習会、意見交換会、展示会

22年8月3日 厚木市環境学習会 バスツアーコースの一つとして約30分見学・説明

22年8月20日 総会記念講演 東京大学未来ビジョン研究センター 江守正多さん

22年8月25日 環境学習会 神奈川土建厚木支部 で講師担当

22年11月20日 匝瑳市 ソラシェア収穫祭のバスツアーで見学に行く 12名参加
23年2月9～13日 さがみ自然フォーラム（アミュあつぎ） 展示
23年2月19日 エコアップあつぎ環境シンポジウム 基調講演担当（アミュあつぎ）
23年3月16日 東海大学SDGs NEXT フォーラム 地域の視点から提言（オンライン）
23年5月27日 神奈川工科大学 SDGs入門講座 講師担当
会員の参加できるイベントや交流会を企画できなかったことが残念でした。

・ 広報活動

- ▶ ホームページ 最新情報のアップなど適時の運用がやや不十分でした。「Instagram」記事をスタートしていますがアップの回数は多くはありませんでした。
- ▶ (株)UPDATER（みんな電力）による宣伝活動
ユーザーの応援者が毎月80名強（100円×人数の支援金）あり、収穫祭への参加も。野菜お土産付き。
法人需要家で特定の発電所の電気を使いたいニーズに応えるマッチングサービス（ブロックチェーン技術を使ったトラッキングシステム）で、この1年間はほとんど売り切れ状態。発電所はプレミアム料金を受けられる仕組み。（約0.3円/kWh）
エポスカードのキャンペーン対象になり、22年4月～23年3月の新規カード契約一人につき1000円の支援金をいただきました。エポスの関連で、マルイファミリー海老名店で22年7月25～29日PRイベントの機会を得ました。
- ▶ かわさきFMの取材を受け、23年2月に放送
- ▶ あつぎ気候市民会議関連での取材、記事：神奈川新聞、タウンニュース（会議の記事と人物風土記に鷲谷実行委員長紹介）、ケーブルテレビあゆチャンネル、市の広報Web版、「世界8月号・江守正多さん執筆」など

3) ソーラーシェアリングによる営農実績検証、援農事業

- ・ 第1号機 営農主体は落合副理事長（農園主）、発電所会員&賛同者の農作業支援「農援隊」の活動は、原則毎月第3日曜日14時～16時。農援隊参加者（収穫祭のみは除く）約50名
- ・ 収穫祭 22年10月22日 参加者38名。今回も「食べて交流する」イベントができず残念でした。非常電源の使い方、スマホ充電体験は今後も継続予定です。
- ・ 収穫実績調査、ソーラーパネルによる遮光率と作物収穫の関係調査
主要作物としてサツマイモ、ジャガイモ、ラッカセイ、サトイモを植付け、3段階の遮光率と収穫の関係調査の3年目データをいただきました。詳細は資料-3に示します。サツマイモは遮光率が低い（日当たりがよい）ほど収穫量が多い傾向が認められました。サトイモやラッカセイは遮光率が40%、又はそれ以上でもむしろ収穫量が多い結果になりました。

4) 他団体・行政などとの連携、交流拡大事業

- ・ 2023年度に気候市民会議を厚木市市民協働提案事業に採択され、実行委員会を立ち上げて実施中。2024年度はその結果を受けて具体的な「脱炭素市民アクションプラン」の実践に取り組む内容で市民提案事業を申請中。
- ・ NPO法人市民電力連絡会の運営委員メンバーを担う。台帳制作Projectも担当。
- ・ 加入団体：NPO法人市民電力連絡会、FoE Japan、原発ゼロ自然エネルギー推進連盟

5) あつぎ気候市民会議 厚木市市民協働提案事業として主催（市は共催）

実施主体：あつぎ気候市民会議 実行委員会 約40名

連携：(一社) 環境政策対話研究所（神奈川県23年度施策・神奈川脱炭素推進会議の運営主体）

協力：サイエンスコミュニケーター岩崎茜さん、地球環境戦略研究機関（IGES）、
神奈川県環境科学センター

目的：気候危機を回避し、豊かで暮らしやすい厚木の未来を創ろう！

無作為抽出による参加市民が熟議を経て「脱炭素市民アクションプラン」を作る

⇒市は公式のアクションプランとして受け取る

予算：あつぎ市民発電所とは別会計で運用（2024年3月末まで）

収入 厚木市負担金：2,000千円、ラッシュジャパン合同会社より助成金1,999千円
（独）地球環境基金 助成金2,500千円 計6,499千円

支出 単位：円

全経費合計	6,499,000		
謝金・報酬・人件費	5,211,138	その他の経費	1,287,862
謝金；講師・専門家・情報提供者	595,000	郵送費	350,000
謝礼：アドバイザー	390,000	通信費	100,000
講師食事代	46,000	交通費	0
講師交通費	46,000	研修費	31,221
デザイン制作依頼費	40,000	会議費	20,000
謝礼：市民会議参加市民	1,026,000	印刷費	500,000
報酬：実行委員会	2,630,138	消耗品費	150,000
人件費（発電所役員）	438,000	駐車場・手数料・その他	136,641

プロジェクト概略

厚木市民のミニパブリックス（縮図）になる参加市民52名 9グループ（5～6人/G）
6/18、7/16、8/20、9/17、10/15、11/26の6回の会議で熟議（各4時間）

アクションプランは参加者の投票による推進したい程度を添えて公開、市に提出する予定
第1回会議、第2回会議 予定通り進捗中 動画記録・講演資料等はあつぎ気候市民会議HP
開始時市長挨拶、マスコミ取材（神奈川新聞、タウンニュース、厚木市広報、あゆチャンネル、
NHK）、傍聴者多数

運営サポートスタッフ募集中！

2. 組織活動

会員

前年度末 正会員102名、サポーター会員45名 計147名

今年度末 正会員101名、サポーター会員45名 計146名

会員拡大目標160名には到達しませんでした。

新規入会は8名でしたが、退会が9名（逝去者含む）でした。

会員間の情報交換用のメーリングリストを開設しました。

理事会 定期13回、臨時1回開催（資料-2参照）すべてZoom会議

第2号議案 2022年度決算報告

決算報告書

(第5期)

自 2022年 7月 1日
至 2023年 6月30日

一般社団法人あつぎ市民発電所
神奈川県厚木市旭町5-41-27

貸借対照表（収益事業会計）

2023年6月30日現在

法人の名称 一般社団法人あつぎ市民発電所

[税込]（単位:円）

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
現金	0	未払い法人税等	70,000
城南信用金庫	4,019,156	未払消費税	0
ゆうちょ銀行	0		
売掛金	54,489		
流動資産合計	4,073,645	流動負債合計	70,000
【固定資産】		【固定負債】	
構築物	4,285,998	長期借入金	4,500,000
機械及び装置		基金	3,940,000
固定資産合計	4,285,998	固定負債合計	8,440,000
		負債合計	8,510,000
		正味財産の部	
		前期繰越正味財産増減額	-1,282,290
		当期正味財産増減額	1,131,933
		正味財産合計	-150,357
資産合計	8,359,643	負債及び正味財産合計	8,359,643

(注)

会計方針等

固定資産償却方法 定率法

損益計算書（収益事業会計）

自 2022年7月1日

至 2023年6月30日

法人の名称 一般社団法人あつぎ市民発電所

[税込] (単位:円)

科目	金額	
【経常収益】		
【事業収益】		
売電収入	621,575	
その他売上	1,670,646	
【その他収益】		
受取利息	35	
雑収入	0	
経常収益計		2,292,256
【経常費用】		
【事業費】		
広告宣伝費	0	
渉外活動費	5,165	
会議費	18,540	
旅費交通費	3,194	
通信費	36,466	
消耗品費	221,861	
水道光熱費	6,481	
諸会費	1,000	
賃借料	10,000	
保険料	36,910	
租税公課	92,200	
減価償却費	573,410	
事務費	2,681	
印刷費	12,315	
イベント費	60,350	
支払利息	9,000	
雑費	750	1,090,323
当期経常増減額		1,201,933
【経常外収益】		
経常外収益計		0
【経常外費用】		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		1,201,933
法人税、住民税及び事業税		70,000
当期正味財産増減額		1,131,933
前期繰越正味財産増減額		-1,282,290
次期繰越正味財産額		-150,357

貸借対照表（非収益事業会計）

2023年6月30日現在

法人の名称 一般社団法人あつぎ市民発電所

[税込]（単位:円）

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
現金	253,677		
城南信用金庫	1,332,902		
ゆうちょ銀行	0		
未収金	0		
売掛金	0		
他会計振替	0		
流動資産合計	1,586,579	流動負債合計	0
【固定資産】		【固定負債】	
機械及び装置			
固定資産合計	0	固定負債合計	0
		負債合計	0
		正味財産の部	
		前期繰越正味財産増減額	1,327,040
		当期正味財産増減額	259,539
		正味財産合計	1,586,579
資産合計	1,586,579	負債及び正味財産合計	1,586,579

（注）

会計方針等

固定資産償却方法 定率法

収支計算書（非収益事業会計）

自 2022年7月1日

至 2023年6月30日

法人の名称 一般社団法人あつぎ市民発電所

[税込] (単位:円)

科目	金額		
Ⅰ 経常収益			
会費収入	294,000		
その他売上			
寄付金収入	94,000		
雑収入	72,000		
経常収益計		460,000	
Ⅱ 経常費用			
1. 事業費			
広告宣伝費			
渉外活動費	5,165		
会議費	18,540		
旅費交通費	3,194		
通信費	36,466		
消耗品費	0		
水道光熱費	0		
諸会費	1,000		
賃借料	10,000		
保険料	0		
租税公課	0		
減価償却費	0		
事務費	2,681		
印刷費	12,315		
イベント費	60,350		
支払利息	0		
雑費	750		
事業費計		150,461	
当期経常増減額			309,539
Ⅲ 経常外収益			0
Ⅳ 経常外費用	50,000		50,000
税引前当期正味財産増減額			259,539
当期正味財産増減額			259,539
前期繰越正味財産額			1,327,040
次期繰越正味財産額			1,586,579

貸借対照表

特定非営利活動に係る事業会計

2023年6月30日現在

法人の名称 一般社団法人あつぎ市民発電所

[税込] (単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
現金	253,677		
城南信用金庫	5,352,058	未払法人税等	70,000
ゆうちょ銀行	0	未払消費税	0
未収金	0		
売掛金	54,489		
他会計振替			
流動資産合計	5,660,224	流動負債合計	70,000
【固定資産】		【固定負債】	
構築物	4,285,998	長期借入金	4,500,000
機械及び装置		基金	3,940,000
固定資産合計	4,285,998	固定負債合計	8,440,000
		負債合計	8,510,000
		正味財産の部	
		前期繰越正味財産	44,750
		当期正味財産増減額	1,391,472
		正味財産合計	1,436,222
資産合計	9,946,222	負債及び正味財産合計	9,946,222

(注)

会計方針等

固定資産償却方法 定率法

活動計算書

自 2022年7月1日

至 2023年6月30日

[税込] (単位:円)

科目	金額		
【経常収益】			
【事業収益】			
売電収入	621,575		
会費収入	294,000		
その他売上	1,670,646		
寄付金収入	94,000		
補助金収入	0		
売上高合計		2,680,221	
【その他収益】			
受取利息	35		
雑収入	72,000		
その他収益計		72,035	
経常収支計			2,752,256
【経常費用】			
【事業費】			
広告宣伝費			
渉外活動費	10,330		
会議費	37,080		
旅費交通費	6,388		
通信費	72,932		
消耗品費	221,861		
水道光熱費	6,481		
諸会費	2,000		
賃借料	20,000		
保険料	36,910		
租税公課	92,200		
減価償却費	573,410		
事務費	5,362		
印刷費	24,630		
イベント費	120,700		
支払利息	9,000		
雑費	1,500		
事業費計		1,240,784	1,240,784
当期経常増減額			1,511,472
【経常外収益】			
経常外収益計			0
【経常外費用】			
設備改修引当金	50,000		
経常外費用計			50,000
税引前当期正味財産増減額			1,461,472
法人税、住民税及び事業税			70,000
当期正味財産増減額			1,391,472
前期繰越正味財産増減額			44,750
次期繰越正味財産額			1,436,222

貸借対照表
設備改修特別会計

2023年6月30日現在

法人の名称 一般社団法人あつぎ市民発電所

[税込] (単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】 現金	150,000	【流動負債】	
流動資産合計	150,000	流動負債合計	0
【固定資産】		【固定負債】	
固定資産合計	0	固定負債合計	0
		負債合計	0
		正味財産の部	
		前期繰越正味財産	100,000
		当期正味財産増減額	50,000
		正味財産合計	150,000
資産合計	150,000	負債及び正味財産合計	150,000

(注)

会計方針等

固定資産償却方法 定率法

第3号議案 2022年度監査報告

監査報告書

一般社団法人 あつぎ市民発電所
理事長 遠藤睦子様

2023年7月30日 監事 市川隆雄



一般社団法人 あつぎ市民発電所の会計監査及び業務監査を実施しましたのでご報告いたします。

1 監査基準日

2022年7月1日～2023年6月30日

2 会計監査

監査日 : 2023年7月25日

監査場所 : 新川税理士事務所会議室

立会人 : 遠藤睦子理事長、新川勉会計担当（関与税理士）

(1) 監査方法

2022年度予算の執行状況について、現金 および預貯金通帳の実査、伝票、その他帳票類の照合、決算書類の確認と会計担当者に質問を行いました。

(2) 監査結果

現金および預貯金の管理は適正に行われ、領収書・帳票類は丁寧にわかりやすく整理されていました。決算関係書類は一般社団法人あつぎ市民発電所の財産状態及び損益の状況を正しく示していると認めます。

3 業務監査

(1) 監査方法

2022年度事業計画の執行状況について、理事会や活動に参加しながら監査を行いました。

(2) 監査結果

2022年度も、コロナ禍のため人が集まる行事は内容を制限せざるを得ないなどの制約を受けましたが、事業は状況に合わせて概ね実施されていました。また、厚木市市民協働提案事業として「気候市民会議」の実施を提案し、「あつぎ気候市民会議」を開催できたことは、気候変動が焦眉の課題となっている現状で画期的なことと評価できます。

中心的な事業である発電事業では、売電収入は天候の影響を受けて若干減っていますが、みんな電力による需要家の応援者収入も含めると特

に問題はないと判断します。

2号機の設置に向けての事業拡大活動は、いくつかの提案を行っていましたが、実現できるまでには至りませんでした。特に、年度の後半は「あつぎ気候市民会議」の実施に向けた活動が多くなり、この分野での活動の力が削がれた様と感じます。今年度も引き続き発電設備の拡大に積極艇に取り組まれることを提案します。

なお、昨年の監査提案に対する対応は以下の通りと判断します。

① 理事の役割分担と共有

今年度もこの分野での前進は少なく、まだ不十分と判断します。今後も引き続き、複数人の理事による常任理事会を作るなど、集団として業務を検討・遂行できる体制の確立を迫及されるよう提案します。

② 事務局体制

個別の課題については、プロジェクトを設置し、理事以外のメンバーも事業に参加できるような体制を検討されるように提案します。

③ 活動のボランティア依存について

この件については今年度も十分な配慮が行われていないと判断します。引き続き、専門的な知識を必要とする仕事や負担の大きい作業には、それなりの費用を支払えるようにすることを継続的に検討されることを提案します。

第4号議案 2023年度活動計画（案）

1. 事業実施の方針

気候危機への取組の緊急度と重要度は年ごとに増えています。私たちのあつぎ市民発電所の活動は丸5年経過しました。まずは2号機発電所の設置を早急に行います。ひとつずつの実績をつくる努力とともに、地域の中に確実に再エネを普及できる仕組みづくりを、行政や地域のみならずと協力して目指したいと考えます。

脱炭素社会を作り上げていくために、市民が主体的にかかわれる方法として「あつぎ気候市民会議」を実践中です。無作為抽出で選んだミニパブリックス（縮図）の市民のみならずと、たくさんの実行委員を担うみなさまで創り上げていきます。これを第一歩として、より広く確かに脱炭素を進めるチャレンジをしていきましょう。

2. 事業活動

1) 再生可能エネルギー発電事業

【1号機発電所】

継続して運転状況を確認し、適切な維持管理を行います。

【2号機以降の設備・事業の調査】

2号機は「みんな電力エポスカード」応援金を利用し、オンサイトPPAの発電設備を取得します。厚木市の23年度補助金の活用も検討しています。

ほかにも補助金活用で採算性のある事業を企画します。具体化が見込めれば、資金調達メニューを提示し資金募集活動を行います。

自分で太陽光発電設備を持ちたい個人や事業者の方には、補助金活用も含めてご相談にのります。特にソーラーシェアリングを普及できる仕組みを行政とともに作るよう努力します。

1号機だけでは売電利益還元を出しにくいこともあり、増設を実現させましょう。

発電事業 Project チームで取り組みます。

2) 普及・啓発事業

- ・ 「あつぎ気候市民会議」を運営し、「脱炭素市民アクションプラン」を完成させ公開します。
 - ・ 市民協働提案事業2年目の事業計画と実践を行います。脱炭素市民アクションプランの実践と進捗評価。
 - ・ 随時、第1号機の見学希望を募り見学会を行います。
 - ・ 発電事業希望者へのアドバイスをを行います。手続きや補助金活用のサポートします。
 - ・ 講演会・学習会・他の先進地域の設備や取り組みの見学会を企画します。
 - ・ 広報 HP 内容を充実させていきます。SNS の活用を検討中。
- 普及啓発 Project チーム、広報 Project チームで取り組みます。

3) ソーラーシェアリングによる営農実績検証、援農事業

- ・ 落合農園の援農強化・定着を支援します。
- ・ 農援隊実施日には見学会を同時開催します。

- 落合農園をフィールドにした自然観察、農業体験、環境学習会を企画します。
 - 周辺農家や福祉事業者との協力関係の輪を広げていきます。
 - 収穫祭イベントを企画します。
 - 遮光率と営農実績の記録、気象データの解析を進めます。またドローンによる調査フィールドを提供します。地域の大学との協働を進めていきます。
- 農援隊 Project チームで取り組みます。

4) 他団体・行政などとの連携、交流拡大事業

- 厚木市の施策としてソーラーシェアリングを積極的に進めるよう位置づけることを求め、普及が可能になるような仕組みづくりを提案していきます。農業を担う組織作りをすすめソーラーシェアリングの展開を支える態勢を目指します。
- あつぎ気候市民会議の活動を通し、行政や多くの関係者の協力を得てカーボンニュートラルを実現するための市民参加のベースをつくります。また他地域の方々との交流や連携を深めます。
- 市内市民団体、企業、大学との交流や連携などできそうなことを探り、実施していきます。
- 近隣団体や加入団体主催の講演会などイベントの紹介、情報交換を行います。

3. 組織活動

会員拡大 目標 160 名（年度初め 正会員 101 名、サポーター会員 45 名 計 146 名）

- 事務局体制の確立と、会員や市民が参加しやすい仕組みの活動体制をつくります。
- あつぎ気候市民会議実行委員会、サポートメンバーを引き続き募ります。
- 発電事業 Project チーム、普及啓発 Project チーム、広報 Project チーム、農援隊 Project チームで活動を進めます。会員のみならずぜひ Project チームに参加し、ともに活動をしていきましょう。
- 組織維持、活性化に必須な業務について、体力に見合った適正な報酬を支給できるよう努めます。
- 会員同士の意見交換・交流会、特に現役世代や子育て世代のメンバーで自由に語る会を企画し、新しい発想の芽を育てたいと思います。

第5号議案 2023年度予算（案）

収支計算書（単年度）

自 2023年7月1日

至 2024年6月30日

法人の名称 一般社団法人あつぎ市民発電所

[税抜] (単位:円)

科目	金額		備考
【収入の部】			
売電収入	618,000		
会費収入	300,000		
その他売上	80,000		
イベント	20,000		
補助金収入	0		
		1,018,000	
【その他収入】			
受取利息	0		
雑収入	0		
		0	
収入計			1,018,000
【支出の部】			
広告宣伝費	10,000		
交際費	5,000		
会議費	110,000		
イベント活動費	195,000		
旅費交通費	5,000		
通信費	35,000		
消耗備品費	3,000		
事務費	27,000		
印刷費	40,000		
水道光熱費	8,000		
諸会費	2,000		
賃借料	20,000		
保険料	40,000		
租税公課	72,000		
法人税、所得税、事業税	120,000		
減価償却費	—		
設備費	1,400,000		
支払利息	9,000		
設備改修特別会計	80,000		
雑費			
借入金返済	1,500,000		
支出計		3,681,000	3,681,000
当期収支差額			-2,663,000

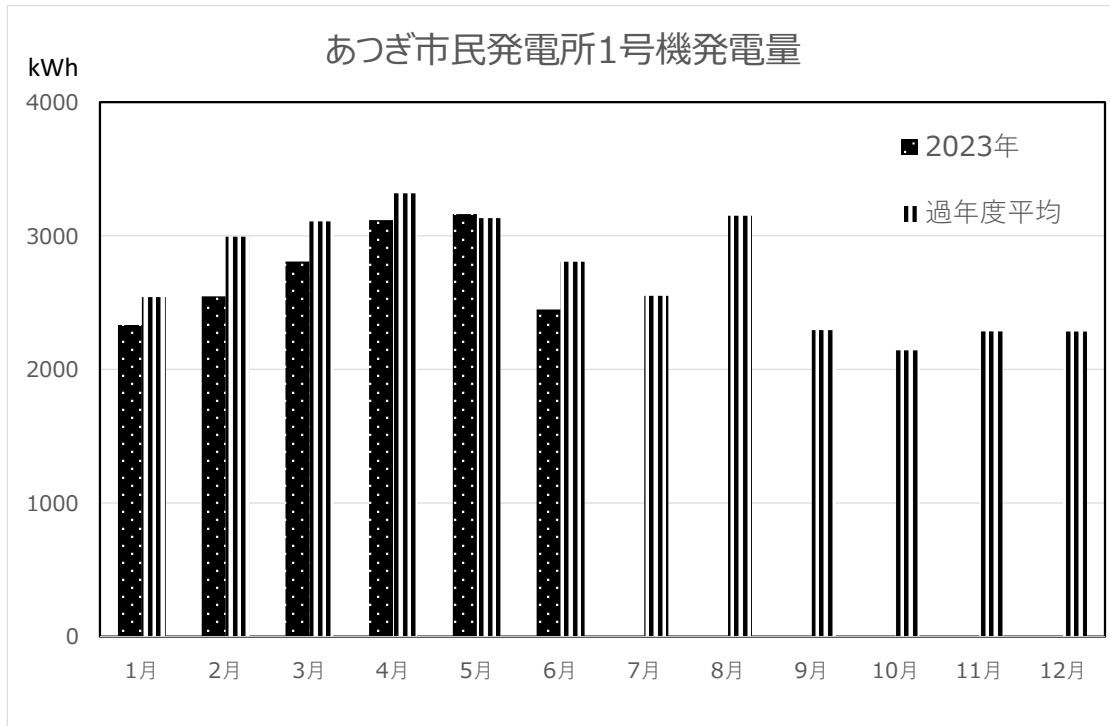
資料—1 1号機 発電実績

1号機 発電量実績 単位：kWh

パソコン：19.8kWモジュール：26.28kW

発電開始：2020年1月11日

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年合計
2023年	2,332	2,547	2,807	3,117	3,163	2,449							16,415
2022年	2,571	2,791	3,186	2,969	3,164	2,773	3,052	2,779	2,406	2,024	2,019	2,247	31,982
2021年	2,511	3,175	3,138	3,605	2,940	2,887	2,895	2,860	2,156	2,411	2,574	2,430	33,581
2020年	1,330	3,014	2,999	3,379	3,290	2,756	1,706	3,811	2,322	1,995	2,261	2,173	31,039
過年度平均	2,541	2,993	3,108	3,318	3,132	2,806	2,551	3,150	2,295	2,143	2,285	2,284	32,604



資料一2 活動記録

会議（理事会）

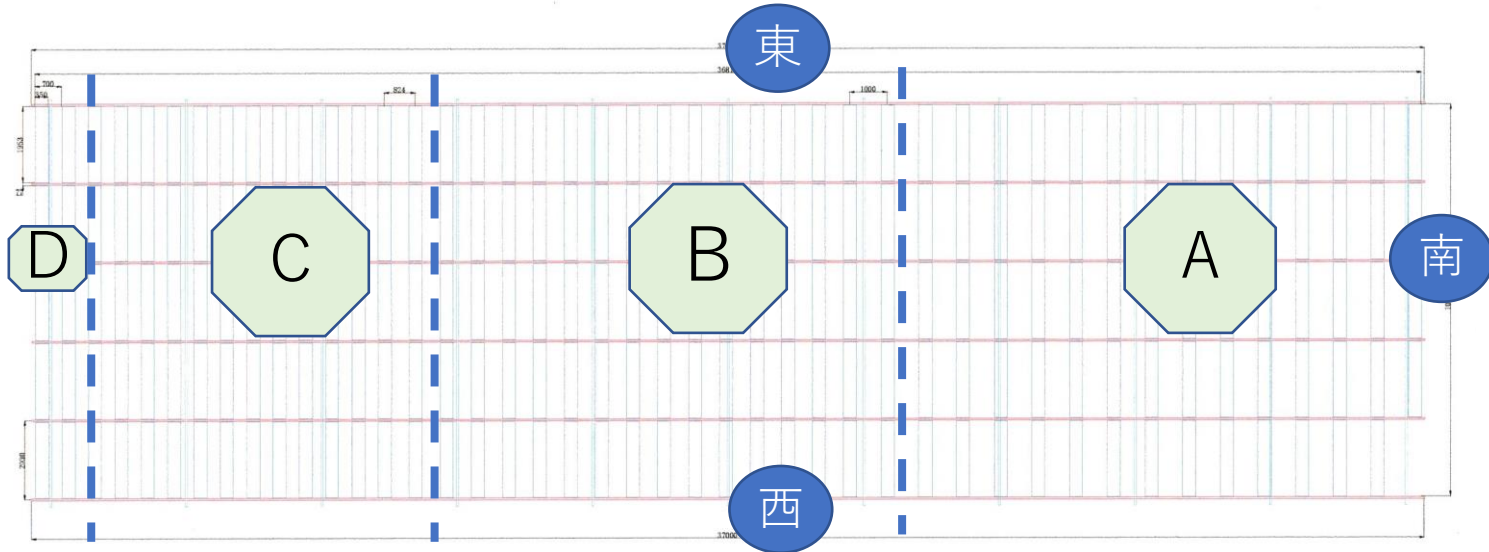
2022年	7月11日	第1回理事会	Zoom会議
	7月31日	第2回理事会	Zoom会議
	8月14日	第3回理事会	Zoom会議 書面総会の結果集約
	9月07日	第4回理事会	Zoom会議
	10月04日	第5回理事会	Zoom会議
	11月03日	第6回理事会	Zoom会議
	12月06日	第7回理事会	Zoom会議
2022年	1月11日	第8回理事会	Zoom会議
	2月14日	第9回理事会	Zoom会議
	2月25日	臨時理事会	エポスカード応援金の活用について Zoom会議
	3月14日	第10回理事会	Zoom会議
	4月04日	第11回理事会	Zoom会議
	5月09日	第12回理事会	Zoom会議
	6月12日	第13回理事会	Zoom会議

普及活動・イベント企画

2021年	7月25日 ～29日	マルイファミリー海老名 1F PRイベント
	8月3日	厚木市環境政策課主催 エコアップあつぎ 環境学習会 小学生～大人（遠藤、落合）
	8月19日	厚木市SDGsパートナーに登録（登録式は9月25日）
	8月20日	総会報告会&記念講演会 東京大学未来ビジョン研究センター 江守正多さん 気候危機のリスクと社会の大転換 参加 会場33人+Zoom19人
	8月25日	環境学習会 神奈川土建厚木支部 講師依頼（遠藤）
	9月18日	IGES 渡部厚志さん 1.5℃ライフスタイル学習会
	10月2日	厚木市市民協働提案事業二次審査 プレゼンテーション
	10月22日	収穫祭 コロナ感染予防のため広く参加呼びかけしなかったが 38名参加 ドローン試験フライト 「非常電源使用方法の説明会」実施 近隣4家族参加
	10月25日	見学会 エジプトからの留学生
	11月20日	匝瑳 ソラシェア収穫祭 バスツアー 12名参加
2023年	1月8日	1号機設備点検

1月 8日	見学・取材 かわさきFM 舞はるりさん
1月 14日	神奈川県母親大会で団体紹介（厚木市文化会館）
1月 17日	見学会 海老名市生活者ネット4名
2月9日 ～13日	さがみ自然フォーラム アミューあつぎ
2月 10日	かわさきFM 放送
2月 19日	エコアップあつぎ環境シンポジウム 基調講演（遠藤）参加 20人
3月 11日	さよなら原発アクション in あつぎ 本厚木駅前スタンディング 50名
3月 16日	東海大学 SDGs NEXTフォーラム で情報提供（講師：遠藤、鷲谷）
3月 29日	エポスカード応援金で防犯カメラ設置
4月 9日	UPDATERからエポスカード応援活用について取材
4月 16日	あつぎ気候市民会議 実行委員会キックオフイベント（市役所会議室）
5月 27日	神奈川工科大学 SDGs 入門講座（副学長齊藤貴教授より依頼・遠藤）
6月 2日	松蔭大学学生のインターンシップ受入れ（あつぎ気候市民会議学生サポーターとして）
6月 6日	厚木市長と面談 あつぎ気候市民会議について
6月 18日	あつぎ気候市民会議 第1回会議開催 サイエンスホール 250
6月 30日	2024年度市民協働提案事業申請書提出

資料-3 落合農園 遮光率と収穫調査



2020年度2021年度2022年度収穫量 (単位収量) kg/10アール

エリア (遮光率)	サツマイモ	ジャガイモ	ラッカセイ	サトイモ		
A (32%)	1060	2210	930	790※	260	2100
B (39%)	1020	1320	640	1010	330	2310
C+D (47%、62%)	530	920	440	890	270	1760
県標準? (2020年度統計e-Stat)	1500 (全国2080)	2060 (全国2010)	160 (全国212)	1340 (神奈川1280)		

※2020年ジャガイモは学校給食に提供のため、収穫時期が早かった



ラッカセイ、サトイモ、ジャガイモ
3年でABCエリアをローテーション一巡
サツマイモは全エリアで3年間継続

照度、気温、地温、土壌水分などの微気象計測し収穫との関係を考察していこう〔気象センサー設置〕

(影以外の要因もあり単純ではないだろうが)
サトイモ、ラッカセイは影が多くても
(適度な影のある方が) 高収量!
サツマイモは遮光率低い方が収穫多い